



- ①【セミナー】事業継続力強化計画セミナー 開催のお知らせ
- ②【セミナー】<販路拡大>『印象に残るブランディングと成功のコツ!』セミナー開催のお知らせ
- ③【補助金】1:『郡上ふるさとコイン』導入促進奨励金支給申請募集のお知らせ
2:『郡上ふるさとコイン』利用促進奨励金支給申請募集のお知らせ
- ④【ビジネスマッチング】第19回しんきんビジネスマッチング「ビジネスフェア 2024」参加者募集
- ⑤『ゼロ災・健康・安心職場づくり大会』～2024 郡上産業安全衛生大会のご案内
- ⑥【セミナー】第3弾『インターネット・SNS活用 個別相談会』開催のお知らせ
- ⑦【セミナー】『地域企業のIT化事例研究&IT補助金活用セミナー』開催のお知らせ

《専門家窓口相談スケジュール》

支援内容	9月相談日	支援内容	10月相談日
経営	19日(木) 30日(月)	経営	11日(金) 23日(水)
法律	27日(金)	法律	24日(木)
税務	10日(火)	税務	8日(火)
労務	11日(水)	労務	9日(水)
IT	20日(金)	知財	18日(金)

《貸付利率情報》

令和6年8月31日時点

融資制度名	利率 (%)	保証率 (%)	適用
経営改善貸付	1.45	—	
普通貸付	1.35~3.90	—	
創業ローン	1.2	—	創業
市チャレンジ	1.9	0.8	創業
支援融資	2.1	0.45~1.9	異業種
市小口融資	0.75	0.5~2.2	

《出張所カレンダー》

曜		9月				10月				
大和	火	3	/	17	24	1	8	15	22	29
白鳥	木	5	12	19	26	3	10	17	24	31
高鷲	水	4	11	18	25	2	9	16	23	30
美並	木	5	12	19	26	3	10	17	24	31
明宝	火	3	/	17	24	1	8	15	22	29
和良	水	/	11	18	25	2	9	16	23	30

※ 9/4(和良出張所)・9/10(大和出張所・明宝出張所)は職員研修のため出張所を閉所致します。お急ぎの際は本所までご連絡をお願い致します。

※ 都合により出張所開設日であっても閉所させていただくことがあります。ご理解のほど宜しくお願いいたします。

小規模企業景気動向調査 [2024年7月期調査]

～前月から一転して改善が見られるも、現状維持が続く小規模企業景況～

<産業全体>

7月期の産業全体の景況は、採算DIがわずかに上昇、売上額・資金繰り・業況DIは小幅に上昇した。主に、建設業におけるDIの大幅な上昇が全体のDIをけん引した。その他の業種のDIについては、全体的に現状維持といった状況であった。一部の業種において、コスト高に落ち着きが見られ、徐々に価格転嫁を進められていることが、DI値の低下傾向が止まった一因としてあげられる。

DI	6月	7月	前月比
売上額	25	52	27
採算	▲17.7	▲16.1	1.6
資金繰り	▲16.4	▲13.1	3.3
業況	▲14.6	▲10.7	3.9

<製造業(食料品、繊維、機械・金属)>買上げ機運の高まりへの対応が求められる製造業

製造業は、資金繰りDIが大幅に上昇し、その他のDIは変化がなかった。

食料品関連は、採算・資金繰り・業況DIが上昇した。繊維工業、機械・金属関連は、採算DIが小幅に低下し、食料品関連と比較すると、価格転嫁しづらい状況であることが窺えた。他業種に比べ、製造業全体で最低賃金の引上げにより、収益性が悪化することを不安視するコメントが多くあり、より一層、価格転嫁の重要性が高まっていくと思われる。

DI	6月	7月	前月比
売上額	44	45	0.1
採算	▲16.6	▲16.9	▲0.3
資金繰り	▲21.6	▲14.3	7.3
業況	▲12.7	▲12.5	0.2

<建設業>悪天候・人手不足等の厳しい環境の中で、効率的な利益確保を目指す建設業

建設業は、売上額・業況DIが2桁ptの大幅な上昇となり、採算・資金繰りDIは小幅に上昇した。全DIが今年の4月頃と同程度の水準まで回復した。

要因としては、資材等の納期の安定化や、公共工事の受注が活発化し始めたことから、稼働率が高い事業者が増えたことがあげられる。一方で、ゲリラ豪雨や猛暑により作業がストップし、採算が悪化しているとのコメントが複数あり、悪天候の影響が様々な業種に及んでいる状況である。

DI	6月	7月	前月比
売上額	▲0.9	120	129
採算	▲20.0	▲15.8	4.2
資金繰り	▲16.4	▲12.0	4.4
業況	▲24.5	▲9.3	15.2

<小売業(衣料品、食料品、耐久消費財)>天候の影響を最小限に抑えたい小売業

小売業は、採算・資金繰りDIがわずかに上昇し、売上額DIが小幅に低下した。

衣料品関連は、全DIが上昇した。猛暑の影響で、例年より売上げが伸びているとのコメントがあった。食料品、耐久消費財関連は、売上額・業況DIが低下した。果物やエアコンなど、猛暑の影響により売上げが伸びているものもあるが、物価高騰に伴う節約志向の影響が依然強い状況である。また、猛暑による外出控えや、天候不順による農作物の仕入れ量の不安定化について言及しているコメントが多かった。

DI	6月	7月	前月比
売上額	▲1.5	▲4.3	▲2.8
採算	▲22.9	▲21.5	1.4
資金繰り	▲19.2	▲18.2	1.0
業況	▲17.0	▲17.0	0.0

<サービス業(旅館、クリーニング、理・美容)>コスト高に負けず、インバウンド等の波に乗りたいサービス業

サービス業は、全DIに変化がなかった。

旅館関連は全DIが上昇した。インバウンド需要の増加に加え、新型コロナの5類移行から1年が経過したことから、夏祭りなどのイベントや、学生の合宿などが再開し盛況であるとのコメントが多かった。クリーニング、理・美容関連については、価格転嫁を実施した結果、顧客の来店スパンが長くなったとのコメントが複数あり、顧客に納得してもらった形での価格転嫁の難しさが浮き彫りとなった。

DI	6月	7月	前月比
売上額	7.9	8.5	0.6
採算	▲11.0	▲10.3	0.7
資金繰り	▲8.5	▲8.2	0.3
業況	▲3.9	▲3.9	0.0

調査概要

- ・調査対象：全国303商工会の経営指導員(有効回答数：243/回答率80.2%)
- ・調査時点：2024年7月末
- ・調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

※ DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。